

日本の就活は変わるか

早稲田大学政治経済学部経済学科
映像ジャーナリズム・高橋恭子ゼミナール
4年新保齊大

概要

今、就職活動について多くの議論が起こっている。「新卒一括採用」、「オワハラ」などテーマはさまざま。そのような中で私も昨年就職活動を行った。現状の議論とはまた違う、窮屈感のようなものを感じた。私の周りの友人も就活という人生を左右するイベントにもかかわらず、積極的になれず、納得できないまま活動を終えた者がたくさんいる。

では、学生が自身の就活に納得感や充実感を持ってないのは何故なのか。今議論を呼んでいる新卒一括採用というシステムやオワハラという問題かもしれない。全く違う課題が潜んでいる可能性もある。

本論では学生・人事・プラットフォーム・キャリアセンターという就職活動を構成する4つの立場にアプローチし、調査を行った。先行調査や学生へのアンケートからは「やりたい事の有無」が就活への積極性を生み出していることがわかった。第4章以降では人事・プラットフォーム・キャリアセンターのそれぞれにインタビューを行い、就活の課題や未来について話を伺った。

終章では「学生が納得感と充実感を持って就職活動ができる世界」を作るため、4者の意見を比較しながら、今後への提言を行う。